

## 食物アレルギー対応事例 記入要領

### 1. 対象施設

学校（幼小中学校、特別支援学校、学校給食センター）、認定こども園、保育園、児童福祉施設等

### 2. 調査対象

令和元年度に発生した、給食や様々な活動で発生した食物アレルギー症状の対応事例

### 3 記入方法・留意点

項目	記入方法・留意点												
事例分類	○ヒヤリハット事例 事故を事前に防ぐことができた事例 原因となる食物を食べてしまったが、医療機関にかからずに経過観察や内服薬で改善した、緊急性を要しない事例 ○事件事例（受診事例） エピペン使用や医療機関受診や救急搬送が行われた事例												
施設種類	該当する施設の種別をプルダウンから選択する												
発生時間/場所	事例が起きた時間および場所を選択する。プルダウンに該当するものがない場合は「その他」を選択する。												
献立名	アレルゲンが含まれた料理名や商品名を記入する。												
食物アレルギー原因物質	アレルゲンとなった食品名を記入する。												
概要	事例発生時の状況や経過を記入する。												
症状（もしくは喫食した場合の症状）	児童・生徒がアレルゲンとなった食品に接したことにより発生した症状を○で選ぶ（複数選択可）。具体的な症状を括弧内に記入する												
	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">症状</th> <th style="text-align: center;">主な症状</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>口腔症状</td> <td>口腔・唇・舌の違和感や腫れ、咽頭の痛み</td> </tr> <tr> <td>呼吸器症状</td> <td>くしゃみ、鼻づまり、鼻水、咳、呼吸困難、ゼーゼー・ヒューヒュー（喘鳴）、喉が締め付けられる、かすれ声</td> </tr> <tr> <td>消化器症状</td> <td>腹痛、下痢、気持ちが悪い、吐き気、嘔吐、血便</td> </tr> <tr> <td>皮膚症状</td> <td>かゆみ、じんましん、むくみ、赤くなる、湿疹</td> </tr> <tr> <td>アナフィラキシーショック</td> <td>頻脈、ぐったり、意識障害、血圧低下</td> </tr> </tbody> </table>	症状	主な症状	口腔症状	口腔・唇・舌の違和感や腫れ、咽頭の痛み	呼吸器症状	くしゃみ、鼻づまり、鼻水、咳、呼吸困難、ゼーゼー・ヒューヒュー（喘鳴）、喉が締め付けられる、かすれ声	消化器症状	腹痛、下痢、気持ちが悪い、吐き気、嘔吐、血便	皮膚症状	かゆみ、じんましん、むくみ、赤くなる、湿疹	アナフィラキシーショック	頻脈、ぐったり、意識障害、血圧低下
	症状	主な症状											
	口腔症状	口腔・唇・舌の違和感や腫れ、咽頭の痛み											
	呼吸器症状	くしゃみ、鼻づまり、鼻水、咳、呼吸困難、ゼーゼー・ヒューヒュー（喘鳴）、喉が締め付けられる、かすれ声											
	消化器症状	腹痛、下痢、気持ちが悪い、吐き気、嘔吐、血便											
	皮膚症状	かゆみ、じんましん、むくみ、赤くなる、湿疹											
アナフィラキシーショック	頻脈、ぐったり、意識障害、血圧低下												
参考資料：「食物アレルギーの診療の手引き 2011」													
その時の対応	事例発生時に、誰がどのような対応をしたのか詳細を記入する。												
原因	事例が発生した原因となる項目を○で選択する。（複数選択可）。その他を選択した場合は、原因を括弧内に記入する。												
反省点	なぜ事例が発生したのか、対応が不十分だったこと等を記入する。												
対策	発生事例を踏まえて実施している対策について記入する。												